

商業

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
商業	商品開発	3	3年次・M群	選択

目 標	履修の条件・連絡
<ul style="list-style-type: none"> <li>商品開発に関する知識と技術を習得させ、顧客満足を実現することの重要性について理解させる。</li> <li>商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域共創系列および商業系列の生徒が望ましい。</li> </ul>

使用教科書 (出版社)	商品開発 (実教出版)	副教材 (準備物)
----------------	----------------	--------------

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い
	1 学 期	4月		第1章 商品と商品開発
5月			1. 商品の多様化	
6月			2. 商品開発の意義と手順 第2章 商品の企画	
7月			1. 環境分析 2. 商品開発の意思決定と開発テーマの決定 3. 市場調査 4. 商品コンセプトの立案と商品企画書の作成	
2 学 期	9月		第3章 商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>詳細設計に基づき、試作品を作成し、評価の項目と基準を設定して試作品を評価し、設計・仕様の変更を行う過程について理解させる。</li> <li>機能テストや消費者テスト、市場テストなど開発商品に関するテストの方法について理解させる。</li> <li>開発商品のテストによって、商品コンセプトの仮説検証を行うことの重要性について理解させる。</li> <li>デザインの種類と、商品開発と関わりの深いデザインについて認識させる。</li> <li>配色や構成などデザインに関する基礎的な知識と技法を習得させる。</li> <li>グラフィックデザインの目的と社会性、種類について理解させる。</li> </ul>
	10月		1. 商品の仕様と詳細設計	
	11月		2. 試作品の作成と評価 3. 開発商品のテスト	
	12月		4. 事業計画の立案 第4章 商品開発とデザイン	
			1. デザインの基礎 2. パッケージデザイン 3. グラフィックデザイン 第5章 商品開発と知的財産権	
3 学 期	1月		第6章 商品流通と流通を支える活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>流通の役割、流通の仕組みとその変化、および流通系列化について理解させる。</li> <li>商品の特性に応じた流通手段の選択について、具体的な事例を取り上げて理解させる。</li> <li>これまで学習した内容（特に第2～4章）に基づき、商品開発を行う実習をさせる。</li> </ul>
	2月		1. 流通の仕組みと市場	
	3月		2. 売買業者の商品計画 3. 流通手段の多様化	
			4. 物流と流通を支えるその他の活動 第7章 総合実習	

学 習 評 価	観	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	規	商品活動に関する諸活動を主体的に考える、実践的な態度を身に付けているか。	商品開発に関する諸活動への適切な対応を目指して、思考を深めているか。	商品開発に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用しているか。	商品開発に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。
	手	授業中の態度の観察	授業中の応答	調査中の態度	実習作品
	段	提出物の提出状況	定期考査	分析資料の提出	定期考査
価	各学期や年間の学習状況の評価方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>考査は年3回実施。各回とも考査点70%、平常点30%で成績を評価する。</li> <li>平常点は、授業態度、提出物の状況、演習作品の内容である。</li> </ul>		

学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書を読むなどの予習をしておこう。</li> <li>売買業に関する新聞記事の切り取りを収集しておこう。</li> <li>実習を伴います。真剣に取り組みましょう。</li> </ul>
---------	---